ニッペ

吹付け水性高機能環境配慮形塗料 略号：EP-AB (absorb board)

シールマットⅡ

吸音ボード・天井ボード専用

ホルムアルデヒド放散等級
F ☆☆☆☆

防火材料認定番号	品目名
NM-5298	アクリル系樹脂塗装／合成樹脂塗装ロックウール吸音板

※ NM-8599 (9㎜ ,12㎜) 基材限定となります。

特長

01 吸音ボードの吸音効果を落としません。

02 ホルムアルデヒドをはじめとする
アルデヒド類を吸着し、再飛散させません。

03 防かび、抗菌で
アレルゲン物質の増加を防ぎます。

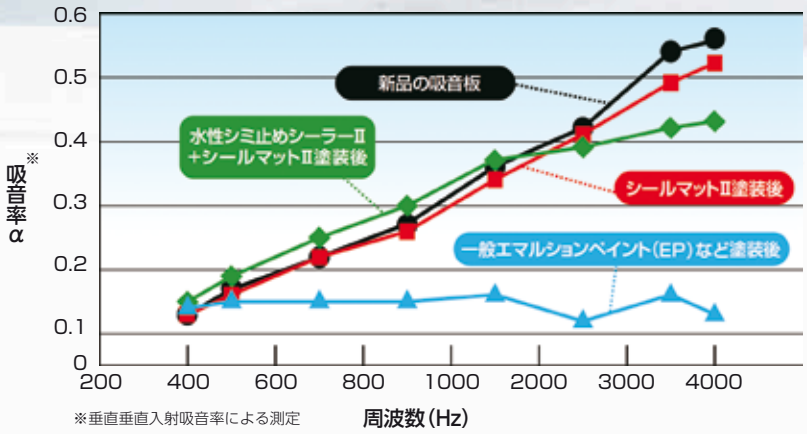
04 軽量な塗膜のため、
天井材などの塗替えに最適です。

05 吹付けの為、凹凸が有る
吸音ボードの塗替えに最適です。

06 超低臭で塗装時から
臭気がほとんどありません。

07 超低 VOC：0.1%以下です。

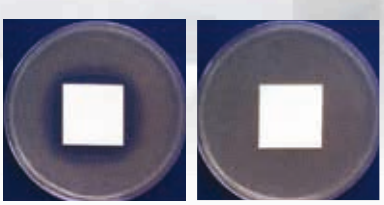
■塗装後も吸音効果を維持



※垂直垂直入射吸音率による測定

■抗菌および防カビ機能

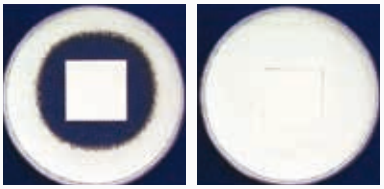
■ 抗菌機能



シールマットⅡ　従来のエマルション塗料

■ 防かび機能

様々なかびが発生しにくい環境をつくります。

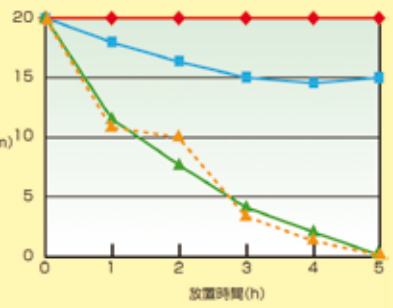


シールマットⅡ　従来のエマルション塗料

■F★★★★（ホルムアルデヒド対策）以上の環境配慮

ホルムアルデヒド / アセトアルデヒド吸着

合板や壁紙から出るホルムアルデヒドなどの揮発性有機化合物を吸着する事により、シックオフィスやシックスクール問題などの室内環境問題改善に貢献できます。



測定方法:
7cm×7cm大の塗装板をデドラーバックに入れ開口部を熱シールし、その中に窒素で希釈した20ppm濃度のアルデヒドガスを注入。1時間ごとの残存濃度をガスクロマトグラフィー測定装置で測定。

■日本塗料工業会の健康リスクに関する目標基準（室内塗料）

設計条件目	目標値	シールマットⅡ
TVOC	1%以下	0.1%以下
芳香族系溶剤	0.1%以下	配合せず※
アルデヒド類	0.01%以下	配合せず※
重金属 (鉛、クロムなど)	0.05%以下	配合せず※

※ただし不純物質として極微量検出される可能性があります。

NIPPON PAINT CO., LTD.
Basic & New

ニッペ シールマットⅡ

■荷姿：16kg（石油缶）

＊印刷の色相は近似色のため、実際の色とは異なります。　ホワイトは、N-95の近似です。

標準色：完全つや消しのみ（常備色ではございませんので、ご留意ください）

ホワイト	N-90	N-93
19-90A	22-90B	15-90A

■標準塗装基準

工　程		塗料名	塗り回数	使用量（kg /㎡ / 回）	塗り重ね乾燥時間（23℃）	希釈剤	希釈率（%）	塗装方法
シーラーなし	下地調整	被塗面のごみ・ほこり・やにやしみを除き清浄な面とする。やにの著しい部分は、事前に、濡らしたウエスなどで拭き取り、十分に乾燥させる。						
	上塗り	シールマットⅡ	1	0.15 ～ 0.18	15 分以上	水道水	5 ～ 15	エアレススプレー
シーラーあり	下地調整	被塗面のごみ・ほこり・やにやしみを除き清浄な面とする。やにの著しい部分は、事前に、濡らしたウエスなどで拭き取り、十分に乾燥させる。						
	下塗り	水性シミ止めシーラーⅡ	1	0.11 ～ 0.13	4 時間以上	水道水	0 ～ 5	はけ、ウールローラー
	上塗り	シールマットⅡ	1	0.15 ～ 0.18	15 分以上	水道水	5 ～ 15	エアレススプレー

・上記の各数値は、標準的な数値です。被塗物の形状・素地の状態・気象条件・希釈率および測定機器・測定方法により増減します。
・上記の使用量は、記載の塗装方法で標準的に使用する量を記載しています。必要に応じ、所定の使用量・膜厚になるように使用量・塗り回数を調整してください。
※改修 1 回目に本品または水性シミ止めシーラーⅡとの組合せで塗装した場合のみ防火認定となります。
※基材が NM-8599（9㎜,12㎜）であっても、他の基材・塗料が施工されている上への塗装は防火認定と認められません。

■塗料性能試験

工　程	規　格	性　能
容器の中での状態	かき混ぜたとき、堅い塊がなくて一様になるものとする。	合　格
塗装作業性	塗装作業に支障があってはならない。	合　格
乾燥時間（h）	標準状態：2 以下　5℃：4 以下	合　格
塗膜の外観	塗膜の外観が正常であるものとする。	合　格
抗菌性	フィルム密着法による菌数測定。（社内規定）	10 以下
TVOC	標準圧力で、沸点または開始点が、250℃以下の化学物質量が、1% 以下であること。（日本塗料工業会の室内用建築用塗料の目標基準）	合　格
臭　気	従来品と比べ、極めて少ないこと。（社内規格）	合　格
ホルムアルデヒド吸着性	吸着が認められること。（社内規格）	合　格

施工上の要点と注意事項（詳細な内容については、各製品の製品使用説明書などにてご確認ください。）

1. シールマットⅡは「施工要領書」を必ずお読みください。また実際の施工にあたっては「施工要領書」の内容にしたがって施工してください。
2. 窓などの開口部近辺の天井は、斜光により仕上がり性の精度が非常に厳しく求められます。入念な下地処理やシーラーでの吸い込み止めなどの処置を行なってから塗装してください。
3. 規定の使用量を超えて過剰に塗装した場合は、ボタ落ちが発生したり、乾燥後にひび割れが生じたりするおそれがあります。
4. 著しい油汚れ面では塗膜に割れが生じたり、付着しないおそれがあります。
5. 天井用途以外には使用しないでください。また再塗替えの場合には本品をご使用ください。一般の塗料を使用すると、はく離する場合がありますので、施工前に密着をご確認ください。
6. 塗装後の乾燥塗膜はブラシ、水で塗らしたウエス、指などで強くこすると削れます。またテープなどを貼ると塗膜表面からはく離しますのでご注意ください。
7. 新しく張り替えた天井板は、色相や吸い込み差が異なるため、旧天井板と仕上がり差が生じます。旧天井板と EP 塗料などで色相を合わせたり、目立たない場所への差し替えなどの工夫をしてください。
8. 繊維壁、耐火被覆用ケイカル板、ロックウールなどの非常に脆弱な素材には塗装できません。
9. 防藻・防かび・効果は、繁殖を抑制するものです。既に繁殖している場合は、下地処理として除去および殺菌処理をしてから塗装してください。
10. 絶えず結露が発生するような用途、場所での使用は避けてください。著しい結露が発生する場所では、塗料中の水溶成分が表面に溶出し、黄色い粘着物などとなって析出するおそれがあります。著しい結露が予測される場合は、塗装を避けるか、溶剤系塗料での塗装をおすすめ致します。
11. スプレーノズルの先端は、時々水洗いをしてください。 作業能率の低下および塗りむらの原因になります。
12. 氷点下で貯蔵すると凍ります。凍らないように 5℃以上で貯蔵、保管をしてください。
13. 塗膜に割れが生じるおそれがあるため、軟らかい塗膜の上への塗装は避けてください。
14. 旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおこすおそれがあります。
15. やにが著しく付着している場合は、ウエスなどでやにを水拭きして除去し被塗装面を十分に乾燥させてから塗装してください。希釈を少なくし、1 回目の塗装を十分乾燥（目安 23℃、6 時間）させてから 2 回目の塗装をすることでやに止め性が向上します。シミ、あく面は止まりにくい場合がありますので、ウエスなどで水拭きを行い、被塗装面を十分乾燥させてから塗装してください。
16. 下地にタバコのヤニ汚れが著しい場合は、下塗り材として水性シミ止めシーラーⅡを塗装してください。
17. 塗装場所の気温が 5℃未満、もしくは湿度 85％以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
18. 塗装時および塗装後に密閉しますと乾燥が遅れますので、換気を十分に行ってください。
19. 塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分に行い、火気厳禁にしてください。
20. 飛散防止のため必ず養生を行ってください。
21. 薄めすぎは隠ぺい力不足、仕上がり不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
22. 調色には必ず当社専用の原色をお使いください。
23. 汚れ、傷などにより補修塗りが必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法等の塗装条件を同一にしてください。
24. 塗料は内容物が均一になるようにかくはんしてください。特につや消し剤が沈降している場合がありますので、かくはん機を用いて缶底の沈降物を十分にかくはんしてご使用ください。
25. 開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
26. 塗装後の乾燥塗膜はブラシ、水で濡らしたウエス、指などで強くこすると削れますので清掃時に注意してください。また塗装後、テープなどを貼ると塗膜表層から剥がれるので注意してください。
27. シールマットⅡで施工後、再塗装する場合はニッペシールマットⅡをご使用ください。一般の塗料を使用するとはく離することがあります。
28. 塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。
29. 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート（SDS）をご参照ください。

安全衛生上の注意事項　ニッペシールマットⅡ N-90　　横倒禁止

1. 使用前に取扱説明書を入手すること。
2. 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
3. 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
4. 取扱い後は、手洗いおよびうがいを十分に行うこと。
5. この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。
6. 環境への放出を避けること。
7. 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
8. 本来の用途以外に使用しないこと。
9. 気分が悪い時は、医師の診察／手当を受けること。
10. 口をすすぐこと。
11. ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。
12. 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
13. 容器からこぼれた時には、砂などを散布した後処理すること。
14. 施錠して保管すること。
15. 直射日光や水濡れは厳禁。
16. 塗料等の缶の積み重ねは 3 段までとすること。
17. 容器は、つり上げないこと。やむを得ずつり上げるときには、適切なつり具で、垂直に持ち上げ、落下に十分注意すること。（偏荷重になると取っ手が外れ、落下事故の危険がある。）
18. 塗料、塗料容器、塗装具を廃棄する時には、産業廃棄物として処理すること。容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがあるので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼すること。
19. 内容物／容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って産業廃棄物として廃棄すること。

※上記の表示は一例です。色相などにより、容器の表示と異なる場合があります。
■詳細な内容、表示例以外の商品については、安全データシート（SDS）をご参照ください。
■本商品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください

危　険	危険有害性情報
	遺伝性疾患のおそれの疑い／発がんのおそれ／長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害／長期的影響により水性生物に有害

日本ペイント株式会社

北 海 道 支 店 ☎011-370-3101
東　北　支　店 ☎022-232-6711
関　東　支　店 ☎03-5479-3614
北関東信越支店 ☎03-5479-3614
中　部　支　店 ☎052-461-1960
近　畿　支　店 ☎06-6455-9320
中　国　支　店 ☎082-281-2180
四　国　支　店 ☎0877-56-2346
九　州　支　店 ☎092-751-9861

●本カタログの内容については、予告なしに変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。
●本カタログ中の製品名・会社名は、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社・その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
●©Copyright 2022 NIPPON PAINT Co.,Ltd. All rights reserved.

●日本ペイントホームページ　https://www.nipponpaint.co.jp/

■詳しい情報はホームページで
日本ペイント　建物　検索

カタログNo.
NP-A032
UD221002T
2022年10月現在